



一人でも入れる組合

# ユニオン神奈川

No. 129

2021年12月21日

発行：日本労働組合総連合会神奈川県連合会  
連合ユニオン神奈川事務局

〒231-0023

横浜市中区山下町24-1 ワークピア4F

TEL:045-211-1133 FAX:045-201-8866

(相談ダイヤル) 0120-154-052

ユニオン歴史散策

## 「大塚遺跡」を訪ねる

コロナ禍のため延期していたユニオン歴史散策が11月6日に15人の参加で開催された。場所は地下鉄センター北駅近くにある「横浜市歴史博物館」と隣接している「大塚遺跡」である。

博物館ではボランティアの方から、稲作と争いが始まった弥生時代、大河ドラマ「鎌倉殿の13人」を意識した鎌倉時代、横浜港開港の近現代の三代について説明があった。「大塚遺跡」は高台に作られた2千年前、弥生時代中期の環濠集落の遺跡。堅穴住居、高床式倉庫などが復元されている。2班に分かれボランティアから説明を受けた。天気も良く家族連れの方々も多く見学されていた。

終了後は、歳勝土遺跡公園で15人で円座を組み弁当を食べながら、紙屋顧問、西村先生(組合員)、西山サポーターから、その歴史や遺跡について報告がされた。続いて参加者から感想が述べられ、充実した一日を過ごした。



歳勝土遺跡公園での昼食



横浜市歴史博物館見学の様子

## 出前講座

### 川崎市立高津高校定時制

11月10日及び11月24日の2回、川崎市立高津高校の定時制の生徒に「役に立つワークルール」という内容で労働講座を実施した。10日・第1回目、教員5名が参加。24日・第2回目には4年生30名、教員6名の参加があった。

定時制に通う生徒は、昼間はコンビニやスーパー、飲食店などでアルバイトなどをしながら高校に通っているという生徒が多く、お店で「皿を割った」「レジのお金が合わない」などトラブルがあった場合、店長から「弁償しろ！」など怒られることもあり「どう対応したら良いかわからない」ということである。講座の内容は、トラブルにあった際の対

応方法をはじめ、実際に連合ユニオンの電話相談に寄せられる労働問題を事例とし、労働基準法や労働契約法についての基本的な内容について講義を行なった。

生徒たちは働く場所ですること身近な内容だけに真剣なまなざしで講義に耳を傾けていた。講義後、生徒たちから「とても役に立った」「一人で悩まずに相談することが大切だと思った」「相談できるところがあるということを知って心強い」などの感想が寄せられた。今回は川崎地域連合の取り組みの一環として行ったが、他の地域連合でも取り組んでも良いのではないかと感じた。

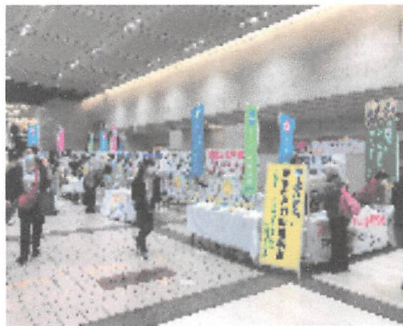


講座の様子

# 2021年度「第2回まちかど労働相談」

## コロナ禍で控えめな相談

11月14日、今年度2回目横浜駅そごう前の新都市プラザにて「まちかど労働相談」が開催された。本来ならば5月、6月に開催予定だったが、コロナ禍のため中止し、10月10日に開催して以来である。チラシはマスクに添付して配布した。感染を恐れてか、受け取る人は従来に比べ減少傾向である。



相談件数は32件、昨年と同様であった。一昨年64件であったので減少している。理由は、やはりコロナ禍であろう。相談者の属性も比較的全年代に散らばっており、2年前までの高齢層に偏っていたのとは傾向が違った。高齢層が外出を控えているか、全年代層に問題が波及しているとみるべきだろう。

## 退職を暗に示唆

相談内容について今回は、「差別、パワハラなど」が最も多く、次いで「労働時間関係」であった。これは最近の労働相談内容の傾向と似ているが、経営側が安易に「解雇」とは言わずにいろいろな形で圧力を加えたり、勤務日数やシフト数を減らす、高齢者には再雇用条件を引き下げたりしながら退職を迫っている例がみられる。2年前は賃金関係、特に残業代の未払いなどの相談が多く、次いで年次有給休暇の相談が多かった。長時間残業や有給休暇の5日間取得義務化などが背景にあったと考えられる。



労働相談は時の法令改正や経済状況などに左右されるが、十分に相談者の話を聞き、身近なセーフティネットとして、今後も取り組んでいく。

## 関東学院大学

### 連合寄付講座

#### 初めて学生の前で

11月4日に経済学部の1年から4年を対象に「労働組合の意義と労働法と労働組合を知り、就職の備えとしよう」と題して授業を行った。昨年はオンラインであった。聴講した学生は29名。意外に皆さん真面目。労働組合の歴史、労働法の中身、「解雇された」、「休暇が取れない」などの具体的な相談への対応などを約80分説明した。「プロ野球には労働組合があると思う人、手を挙げて」という二択形式で5問ほど聞いてみた。このおかげかも知れないが、いい反応だった。

#### 嬉しい感想



講義をする鈴木書記長

「これから働く上でやるべきことをたくさん学べて行動することも大切だが、人に頼る、相談することも重要だ。連合の組合にも加入したいと思った」 「質問などあり、覚えやすい授業だった。講師の経験談もあり、どう行動すべきか、わかりやすかった」 「パワハラは当たり前であると思っていた。残業手当、有給などの取得権利があることも学び、労働者の権利は大切であり、守るべきと思った」 などといった感想が寄せられ、改めてこのような講座の重要性を感じた。